

No.	11-1-3	場所	飯島町日曾利 日曾利河原	次世代への継承キーワード
名称	片見山から見た天竜川の日曾利河原			災害現象理解 / 災害発生頻度
災害現象	洪水氾濫			河川 天竜川本川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要

日曾利では天竜川沿いの低い場所にあった田畑が冠水したほか、南カ沢など集落へ流れ込む沢沿いで大きな被害が発生した。架かっていた橋は流され、谷底の家屋をひと呑みにし、15戸が流失・全壊した。床上浸水も253戸と集落の大半が被害を受け、1名の命が奪われた。

●体験談：災害時、飯島小学校教頭

山ノ田部落の一主婦は、「水は盛り上がり押し寄せてきた。」と山津波の恐ろしさを形容し、七〇歳の老婆は「一生のうちで、こんなにひどかったことは全く初めてだ。」と言っていた。又一家をすべての建物を流失したある家は新築したばかりであった。その住居を一瞬にして土蔵もろとももぎ取られたのである。この主人は我が家が流失する瞬間を知ってはいたが、辛苦十年の結晶の無残な、無き跡をととも見るに忍びず、避難先の家から外へ出なかったと、後日、土砂に埋まった我が家のまだ真新しい土台の材の掘り出されるのを見ながら、気力なく語ってくれた。

（「飯島町誌 上巻」より）

記録



天竜川の氾濫。  
天竜川が満水となり各所に被害甚大、上伊那の南部と下伊那の北部に特に被害あり死者多数家屋、林野、田畑の流失等大災害をもたらした。（片見山から見た日曾利河原）

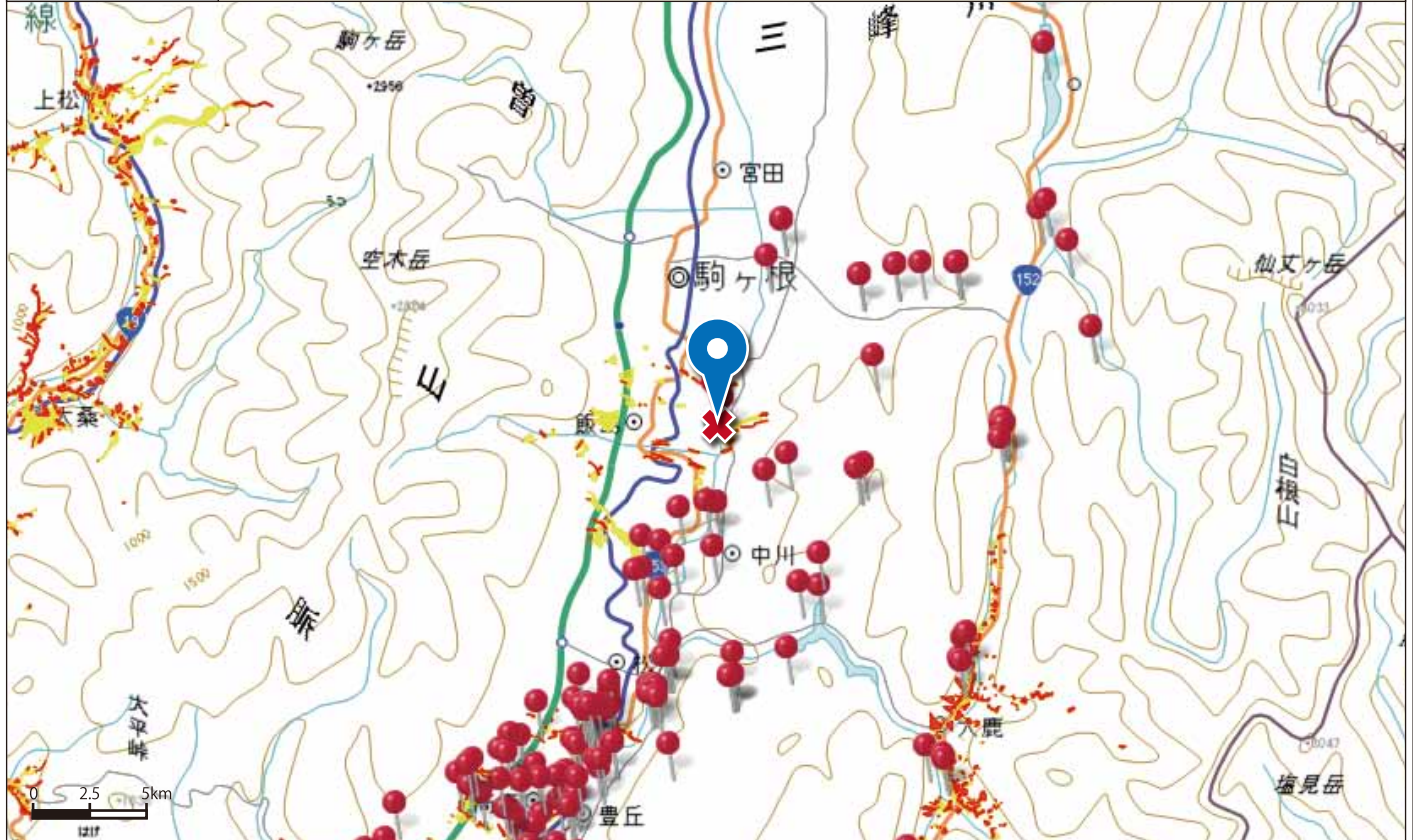
出典	「飯島町の百年」P.330/ 飯島町誌 上巻 p.393		
備考			



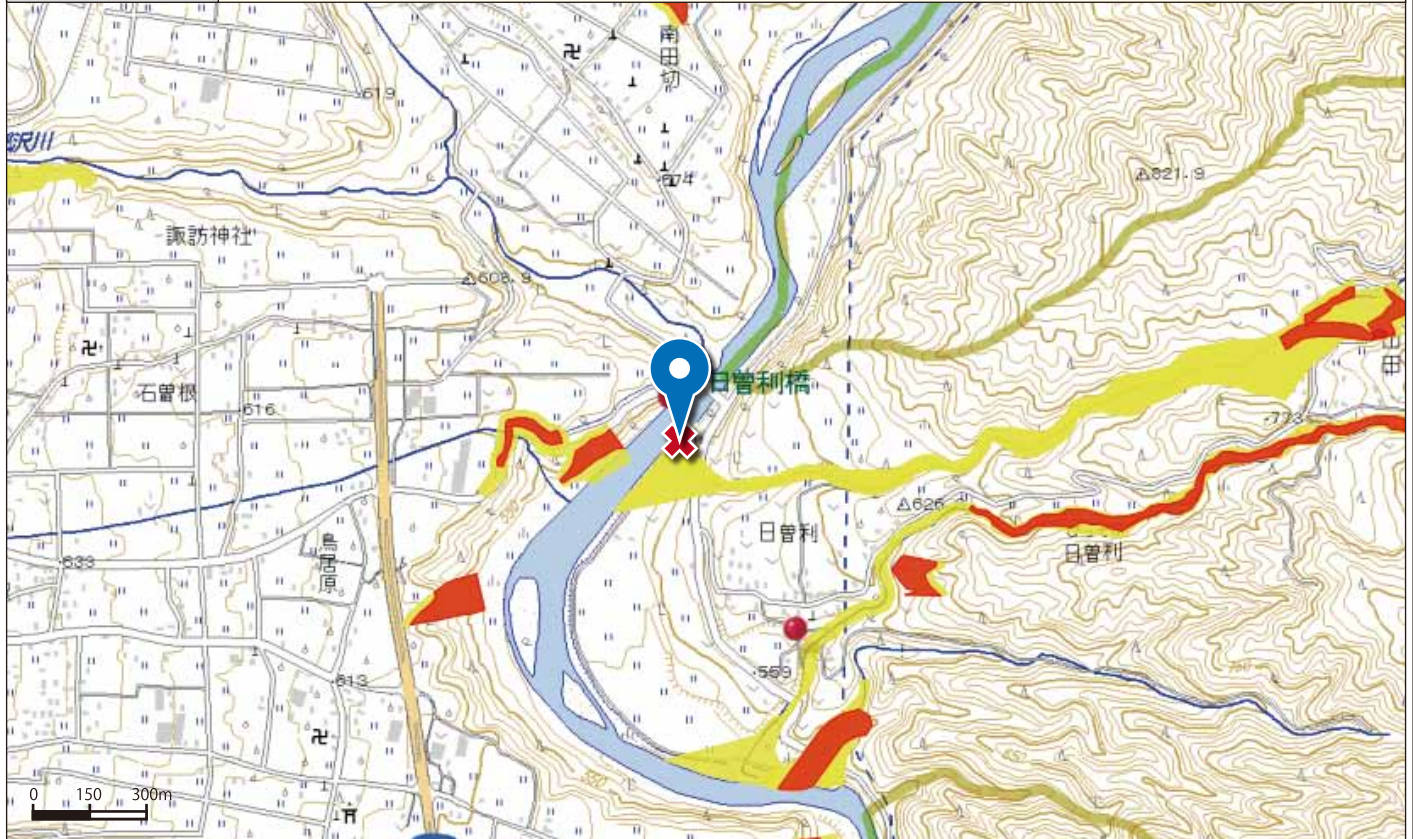
No.	1 1 - 1 - 3	場所	飯島町日曾利 日曾利河原	緯度	35.680751
-----	-------------	----	--------------	----	-----------

名称	片見山から見た天竜川の日曾利河原	経度	137.947555
----	------------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。